

# COVID-19休暇中の安全注意

さまざまな世帯の多くの人たちと合って接する時間が長くなるほど、物理的な相互作用はさらに近くなり、そうした相互作用が長くなるほど、COVID-19患者が症状の有無に関係なく、他者に感染させるリスクが高くなります。

休暇中の集まりにあたっては、同じ世帯の人たちと過ごすのが最も安全です。集まりに参加する場合、家庭外の大切な人にCOVID-19が伝染するリスクをどのように抑えることができるか、お考えください。主な対策：



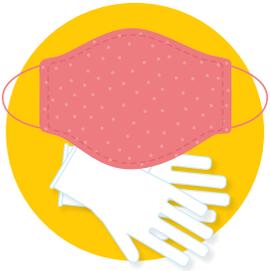
## 集まりの計画：

- 少人数を心掛けること。参加者数を制限し、バーチャルな参加を促すこと。
- 病気の人、検査で陽性反応が出て自宅待機している人、隔離対象の人、または検査結果待ちの人が参加しないよう徹底すること。
- 特に屋内など、物理的に距離を取ることができない場合、参加者にマスク着用を求めること。
- 物理的に距離を取ることができるような座席配置を用意すること。可能であれば、世帯ごとにテーブルを分離した着席を検討すること。
- 短時間の集まりを計画すること。
- グループ内の誰かが感染することが明らかになった場合に備え、連絡先を含むゲストリストを維持すること。



## 集まりの場：

- 参加者に物理的な距離を取ってマスク着用をよう求めること。
- 可能であれば、屋外で集まりを行うこと。
- 特に食事の際など、屋内での換気を強化すること（窓を開ける、空気を循環させる等）。
- こまめに手洗いし、多くの表面に触れ過ぎないようにすること。
- 参加者用に手指消毒剤を十分用意すること。



## 調理中/料理の提供時：

- 調理に関与するすべての人がマスク着用を心掛けること。
- 調理エリア内の人数を制限すること。
- 持ち寄り形式の食事、または参加者が自宅で調理した食物を持参するのを回避すること。
- 個々の人が自ら食事をよそうのではなく、1人の人がすべての食事を提供するようにすること。
- 使い捨てのアイテムの利用を促進すること。



## 集まりの後：

- 病気になった人は隔離し、検査を受けるべきとすること。
- 参加者の誰かに陽性反応が出たら、すべての参加者に連絡し、自宅待機を求め、症状の監視、さらに症状が出た場合は検査を受けるべきとすること。